

大項目番号 1 【教育の内容等に関する取組】 入学者選抜～意欲ある学生の確保～		(中期目標) アドミッション・ポリシーに基づいて質の高い学生を確保するため、選抜方法の充実を図るとともに、その成果を検証し、必要に応じて見直しや改善を図る。 大都市課題の解決に意欲を持ち、社会に積極的に貢献する人材を、幅広く募集する。 意欲ある学生を積極的に受け入れるため、東京都立産業技術高等専門学校や都立高校等との連携を強化する。	
		各年度における特色ある取組、特筆すべき優れた実績を上げた取組、その他積極的な取組	
平成23年度	2	・平成24年度入試アドミッションポリシーを、大学案内、大学説明会、各種ガイダンス、高校訪問等で広く周知することにより、本学が求める学生像に合致した志願者を集めるよう努めた。【1-01】	
平成24年度	2	・大学院の入学定員充足率の適正化及び志願者数増加に向けた各研究科の取組計画を策定し、その実施に着手した。【1-02】 ・「公立大学法人首都大学東京大学院研究支援奨学金」の支給を開始し、学生が学修・研究に専念できる環境の改善を図った。【1-02】 ・国際的に活躍できる人材育成を目指した協働プログラム「グローバル・コミュニケーション・プログラム」を開始し、高専との連携を強化した。【1-05】	
平成25年度	2	・学習指導要領改正に伴い、平成27・28年度入試の科目等について、全学で検討・見直しを行った。【 】 ・学長・副学長のリーダーシップのもと、大学院志願者増加・定員充足率の向上に資するため、教育・研究支援、生活支援、就職支援、広報、留学生支援の観点から、全学課題の取組計画を策定した。【1-02】 ・高大連携事業の推進に向け、新たに4校と高大連携協定を締結した。【1-04】	
平成26年度	2	・グローバルに活躍する人材の確保・育成に向け、理工学系生命科学コースで英語による受験枠の導入及び私費外国人留学生入試の11月前倒し実施の導入を決定(27年度に実施する28年度入試より)。【1-01】 ・大学院定員充足率適正化に係る全学的取組課題の対応策について、大学院生向け奨学金の運用改善やTA制度の拡充など、平成27年度実施に向け検討・制度改正等を行った。【1-02】 ・大都市課題に挑戦し、解決に資する実用開発等を行うことを目標とした大学と高専の共同研究プログラムを新たに立ち上げ、11件の共同研究を開始した。【1-05】	
平成27年度	-	(特色ある取組、特筆すべき優れた実績を上げた取組、その他積極的な取組) ・ ・ (今後の課題、改善を要する取組) ・	

中期計画	中期計画の達成状況						平成27年度計画	自己評価	平成27年度計画に係る実績
	23	24	25	26	27	28			
< 学部 >									
本学の基本理念が広く社会に認知・評価されるよう、具体的な教育目標や求める学生像を明確にし、アドミッションポリシー等を通じて社会に対して積極的に発信していく。							【平成23年度に中期計画達成済み】		<div>赤線内が新たに追加した記載欄 各年度の特色ある取組等を把握する。なお、同様の取組を継続して行っている場合は、複数年度をまとめて記載することができる。 平成27年度は、その時点で法人が認識している、中期計画達成に向けた「今後の課題、改善を要する取組」を記載する。</div>
大学を取り巻く環境変化を鋭敏に見極めながら、アドミッションポリシーに合致する意欲ある学生を獲得できるよう、入学者選抜方法等について創意工夫していく。							1-01 ・新たな選抜方法であるグローバル人材育成入試の詳細を決定し、意欲ある学生の確保につなげる。	A	1 グローバル人材育成入試の実施 < 取組事項 > グローバル人材育成入試の詳細を決定し、募集要項を作成・公表するとともに、進学ガイダンスや大学説明会等で周知を図った。 < 成果・効果 > グローバル人材育成入試の実施により、国際社会で活躍する意欲のある学生5名の入学が決定した。 初めて実施する入試の募集から出願受付、試験実施、合格決定までを事故なく円滑に遂行した。